

## 【教育委員会議事録】令和4年12月定例会

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 開催日時                    | 令和4年12月23日（金） 16:00～16:45   |
| 開催場所                    | 下関市教育センター 3階中研修室  |
| 出席委員の氏名                 | 児玉 典彦（教育長）<br>小田 耕一（教育長職務代理者）<br>藤井 悦子<br>吉村 邦彦<br>佐々木 猛  |
| 欠席委員の氏名                 | なし  |
| 委員及び傍聴人を除くほか議場に参加した者の氏名 | 教育部長 徳王丸 俊昭<br>教育部次長 八角 誠<br>教育部次長 吉川 弘文<br>学校教育専門監 木下 満明<br>教育部参事 白田 和彦<br>教育政策課長 内田 泰敬<br>学校教育課長 岡田 達生<br>教育指導監（生徒指導推進室長）中尾 琢磨<br>教育研修課長 浦野 建太<br>学校支援課長 平本 万佐生<br>教育部参事（学校保健給食課長）山本 泰造<br>教育部参事（生涯学習課長）藤井 智<br>文化財保護課長 濱崎 真二<br>中央図書館長 江原 理恵<br>美術館長 岡本 正康<br>歴史博物館長 古城 春樹<br>土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸<br>下関商業高等学校事務長 三原 達郎<br>教育部参事（菊川教育支所長）岡山 学<br>教育部参事（豊田教育支所長）河崎 昌文<br>教育部参事（豊浦教育支所長）佐々木 治<br>豊北教育支所長補佐 秋枝 いをり<br>教育政策課長補佐 倉前 啓介<br>教育政策課主任 吉富 守夫<br>教育政策課主事 森 由希 |
| 傍聴人の数                   | 傍聴なし  |

次第（目次）

|  |       |      |
|--|-------|------|
| 【開会の宣告】  | …………… | P 3  |
| 【署名委員の指名】  | …………… | P 3  |
| 【教育長報告】  | …………… | P 3  |
| 【議案】   |       |      |
| 第45号 教育功労者表彰（篤行表彰）について   | …………… | P 5  |
| 第46号 令和5年度下関市立幼稚園人事異動方針について  | …………… | P 6  |
| 第47号 令和4年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について   | …………… | P 7  |
| 【報告事項】   |       |      |
| 下関市生涯学習プラザの臨時休館について  | …………… | P 8  |
| 土井ヶ浜遺跡発掘調査開始70周年記念・土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム開館<br>30周年記念プレ企画展「土井ヶ浜遺跡の軌跡」の開催について | …………… | P 9  |
| 第75回優良公民館表彰の決定について   | …………… | P 11 |
| 【その他】  | …………… | P 13 |
| 【閉会の宣告】  | …………… | P 13 |

【開会の宣告】

児玉典彦（教育長）

ただいまから、教育委員会12月定例会を開会いたします。

本日は教育長及び在任委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、会議の定足数を満たしていることを報告いたします。

【署名委員の指名】

児玉典彦（教育長）

本日の議事録の署名は、吉村委員、佐々木委員をお願いいたします。

（はい。（署名委員））

児玉典彦（教育長）

本日の日程は、日程1の議案が3件、日程2の報告事項が3件、日程3その他となっております。

【教育長報告】

児玉典彦（教育長）

それでは最初に、教育長報告を行います。別紙の行事を記した資料をお出してください。

12月に入り、いろんなイベント・行事が再開されるようになり、土日は忙しかったです。12月3日には第1回彦まちミニ駅伝が、ひこつとらんどマリンビーチでありました。ミニ駅伝っていうから、本当にミニなのかなと思っているとかなりの人出で、走る選手の数も観客もとても多かったので、びっくりしました。彦島の勢いを感じたイベントでした。佐々木委員もジャージを着ていたので、走るのかなと思ったんですけど、走らなかったんですか。

佐々木猛（教育委員）

走ってました。

児玉典彦（教育長）

怪しいですけど、たくさんの方がこういう行事に関わることで、いろんな愛着が生まれるんだろうなと実感しました。昼から、菊川のアブニールで行われた下関市人権フェスティバルに参加しました。生涯学習課と人権・男女共同参画課と一緒にいったフェスティバルですが、子供たちの標語や作文もよかったですけど、熊野小学校の合唱がとても素晴らしく、これ以外にも最初の曲で手話を交えてということで、手話言語条例ができて、そういったことがだんだん行き渡っていることが、大変嬉しく思いました。教育は人と人を結ぶ絆です。

教育がなければ、人は社会とつながりません。教育の中でも一番大事なものは、人権教育かなと思っています。人権教育を広めていくうえでは、人権フェスティバルがもっともっと盛んになればいいなと思った時間でした。12月4日(日)下関東ライオンズクラブ認証60周年記念大会に出席をしました。経済的に余裕がある人の集まりだというくらいしか認識がなかったんですけど、実は社会を支えようとする志を持った人たちの集まりだなということを実感し、自分の認識の甘さを反省をしたところです。12月9日、学校給食関門交流の日で、前田市長さんと一緒に名陵小学校3年1組を訪問し、一緒に給食を食べました。大変活発な子供たちで、市長さんも私も大歓迎を受けました。特に面白かったのが、市長さんが北海道に行った時に、ししゃもを刺身で食べるんだという話を子供たちに披露した時の、子供たちのびっくりした顔が印象に残っています。地方によって文化がずいぶん違うんだなと感じました。12月12日、本会議が始まりました。今回の答弁書の枚数が約50枚と、私が教育長になって一番少なかったです。これを喜ぶべきかどうかわかりませんが、一般質問を通して議員さんたちから教育について応援してもらえてるんだなと考えると少ないのかなと思うし、答弁書が多いと担当が大変なので、いつもこれぐらいだったらいいのかなと、ちょっと複雑な気持ちでした。12月14日には、18時から新選しものせき誇り100選完全版発表会があり、ビデオとか画像を見ました。とっても良くできていて、私も挨拶を求められたんですけど、私は誇り100選も誇りだけれど、これを企画し完成させた21世紀協会の皆さんが誇りです、というようなコメントをしました。大変な大作、力作だなと感じたところです。12月20日です。昼から時間が少しとれたので、美術館と歴史博物館にそれぞれ視察ということで行きました。美術館のオールヌーヴォーの展示も、気がついたら1時間ほど学芸員の方の解説を聞きながら回っていたほどで、美術的にそういう才覚がない私が行っても面白かったので、これはずいぶん人気があるだろうなと思いました。歴史博物館でも古城館長さんから解説をしてもらい、大変興味深く視察をすることができました。そのほかでは今日、復活要求で復活予算内示の後、落ちたものをもう一度お願いするための、財政部長のヒアリングがありました。例年になく手ごたえがあって、来年度はまんべんなく充実した教育行政が行えるのではないかという期待をしています。

以上で、教育長報告を終わりますが、何かご意見ご質問はありますか。はい、藤井委員。

藤井悦子(教育委員)

12月3日に行われた人権フェスティバルの中で、とても良いお話があったので、少しお話しさせていただきたいと思います。作文で優秀賞をいただいた、菊川中学校3年生の女の子なんですが、その方の作文で、世界の共通語は英語じゃないよ、と。じゃあ何かなと思ったら、世界の共通語は笑顔だよ、と。なるほどな、言葉は分からなくても、表情で分かるんだなということがとてもよくわかって、挨拶するときも今、挨拶運動はどの学校でもよくしていると思いますが、ただこんにちはこのではなくて、やっぱり笑顔をつけてこんにちはと言った方が気持ちいいよねと、本当によく作文に書かれておりました。是非これを続けていってもらいたいなと思っています。以上です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。そのほかの方はいいですか。はい、佐々木委員。

佐々木猛（教育委員）

失礼します。ありがとうございます。駅伝でジャージを着ていた佐々木でございますが、実は走っていたのではなく、太鼓を叩いてました。これは彦島地区まちづくり協議会が主催でやってたんですが、小学校区の5校区を各校区から2チーム出してもらって、小学生からシニアまでというのをバトンタッチしていくっていうので、全世代で繋ぐっていうことでやっていました。初めての経験ではあったんですが、やってみて多くの方々から、とても良かったねという声もものすごく聞こえてきました。本当に教育長さん、お忙しい中来ていただいて会場を盛り上げたりしていただいたんですが、本当に子供たちの笑顔もすごく素敵で、またシニアの方の笑顔もものすごく素敵で、とてもいいイベントになったのかな。これをこれからも続けていくことっていうのを、彦島島民が改めて感じたところでございました。ありがとうございました。

児玉典彦（教育長）

はい、お疲れ様でした。ほかはよろしいですか。  
ないようですので、日程1の議案審議に入ります。

**【議案審議】**

議案第45号 教育功労者表彰（篤行表彰）について

児玉典彦（教育長）

それでは、議案第45号「教育功労者表彰（篤行表彰）について」教育政策課 内田課長、お願いします。

内田泰敬（教育政策課長）

教育政策課でございます。議案第45号教育功労者表彰（篤行表彰）について、ご説明いたします。資料は2ページとなります。

本件は、下関市教育委員会表彰規則第7条の規定に基づき、教育功労者を決定しようとするものであります。この度は、規則第5条第4号により、学校支援課長から内申があった後、規則第6条に基づき、11月29日に開催された選考委員会において候補者として選考され、本日議案として提出するものでございます。候補者は1団体でございます。認定特定非営利活動法人みらいプラネット様より、学校教育の充実を願われ、下関市内の小中学校及び中学校に対しまして、人権学習啓発図書計1,360冊、総額224万4千円のご寄付があったものでございます。

説明は以上となります。ご審議の程、よろしく願いいたします。

児玉典彦（教育長）

今の議案説明について、ご質問ご意見があればどうぞ。

（ありません。（全員））

児玉典彦（教育長）

ないようですので、議案第45号について承認としてよろしいですか。

（はい。（全員））

児玉典彦（教育長）

では承認といたします。

**【議案審議】**

議案第46号 令和5年度下関市立幼稚園人事異動方針について

児玉典彦（教育長）

続いて、議案第46号「令和5年度下関市立幼稚園人事異動方針について」学校教育課岡田課長、お願いします。

岡田達生（学校教育課長）

学校教育課です。それでは、議案第46号 令和5年度下関市立幼稚園人事異動方針について、ご説明申し上げます。

下関市教育理念実現のためには、各園の組織力を強化し、家庭・地域と連携しながら、教育力の向上を図ることが必要であります。各園においては、特色ある園づくり、また学ぶ力や規範意識の芽生えを育む体験活動の充実、特別支援教育推進などの諸課題に組織的かつ適切に対応できるよう、下記の5点を踏まえ、厳正に人事の刷新を図り、全市的な視野に立って、適材を適所に配置してまいります。簡単にかいつまんでご説明いたしますと、1. 教職員につきましては勤務年数等を考慮し、適切な配置を進めてまいります。なお、同一園5年を超える者については、原則として異動を行います。2. 園長は、活力ある園運営を行うとともに、教職員の資質能力の向上のために指導力を発揮することができる人材を配置いたします。3. 幼稚園・こども園間の人事交流を推進してまいります。4. 特別支援教育の充実に配慮した人材の配置を行います。5. 新規採用者については、園の状況等を踏まえ、実践的指導力を高めることができるよう、計画的な配置を行ってまいります。

以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

児玉典彦（教育長）

今の説明に対しまして、ご質問ご意見があればどうぞ。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

ご報告ありがとうございます。これは令和5年度の幼稚園教育人事異動方針であって、令和4年度・3年度から引き継がれているものだと思いますけど、「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志」っていうふうなことのミッションに基づいて、これが定められたという認識でよろしいですか。

児玉典彦（教育長）

はい、岡田課長。

岡田達生（学校教育課長）

はい、そうでございます。

吉村邦彦（教育委員）

ありがとうございます。

児玉典彦（教育長）

ほかはどうですか。よろしいですか

（はい。（全員））

児玉典彦（教育長）

ないようでしたら、議案第46号について、承認としてよろしいでしょうか。

（はい。（全員））

児玉典彦（教育長）

では承認とします。

**【議案審議】**

議案47号 令和4年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について

児玉典彦（教育長）

続いて、議案47号「令和4年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について」教育研修課 浦野課長、お願いします。

浦野建太（教育研修課長）

教育研修課でございます。資料5ページをお願いします。議案第47号令和4年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について、ご説明いたします。

本件は、下関市立学校教材審査会規則第3条の規定に基づき、令和4年度下関市立学校教材審査会委員を委嘱するものです。令和3年度委員の任期満了に伴い、令和4年度委員を新たに6ページに示してある名簿のとおり、委嘱したいと考えております。教材審査会とは、

下関市立小中学校及び下関商業高等学校で使用する令和5年度用準教科書の使用の適否を審査する会です。準教科書とは、小学校の体育科や、下関商業高等学校の中国語等、教科書の発行されていない教科の主な教材として使用する教科用図書のことです。委員については7ページに示しております。下関市立学校教材審査会規則第3条において、教育関係者、学識経験者の中から教育委員会が委嘱するものとされており、任期については第4条のとおり、1年となっております。審査については、9ページに示してある下関市立学校教材審査基準を踏まえて審査いたします。なお、委員の定数については、10ページに示しております下関市附属機関設置条例において、12人以内とされております。こうした条例等の規定に基づき、戻りますが6ページの名簿のとおり学識経験者6人、教育関係者6人の合計12人を委員として委嘱するものです。任期は令和5年1月1日から12月31日までとなっております。

説明は以上です。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

児玉典彦（教育長）

今の説明について、ご質問ご意見があればどうぞ。

（ありません。（全員））

児玉典彦（教育長）

よろしいですか。それでは、議案第47号について承認としてよろしいでしょうか。

（はい。（全員））

児玉典彦（教育長）

では承認といたします。

続いて、日程2報告事項に入ります。

#### 【報告事項】

下関市生涯学習プラザの臨時休館について

児玉典彦（教育長）

報告事項「下関市生涯学習プラザの臨時休館について」生涯学習課 藤井参事、お願いします。

藤井智（教育部参事（生涯学習課長））

生涯学習課でございます。下関市生涯学習プラザの臨時休館について、ご説明をいたします。資料の11ページをご覧ください。令和5年2月24日（金）に、中央図書館を含めた施設全体の消防用設備の保守点検を実施するため、臨時休館することといたしました。生涯学習プラザ及び中央図書館の施設の維持管理は、指定管理者である下関市文化振興財団が

行っております。

このたび、指定管理者からの申し出があり、消防法に基づく消防用設備の保守点検では火災報知器の作動試験及び各部屋内での立入り設備点検が行われることから、利用者に配慮し、安全な点検を実施するために臨時休館が必要と判断したものです。なお、2月24日（金）は、中央図書館が設置条例に基づく休館日にあたるため、生涯学習プラザのみの臨時休館となります。

以上、ご報告いたします。よろしくお願いいたします。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。では今の報告について、ご意見ご質問があればどうぞ。

（ありません。（全員））

児玉典彦（教育長）

ないようですので、本件について報告済みといたします。

**【報告事項】**

土井ヶ浜遺跡発掘調査開始70周年、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム開館30周年記念プレ企画展「土井ヶ浜遺跡の軌跡」の開催について

児玉典彦（教育長）

続いて、「土井ヶ浜遺跡発掘調査開始70周年記念、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム開館30周年記念プレ企画展『土井ヶ浜遺跡の軌跡』の開催について」土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム 松下館長、お願いします。

松下孝幸（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長）

人類学ミュージアムでございます。よろしくお願いいたします。土井ヶ浜遺跡発掘調査開始70周年記念、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム開館30周年記念プレ企画展「土井ヶ浜遺跡の軌跡」の開催について、ご報告いたします。資料の12ページと13ページをご覧ください。また、お手元の席上配付させていただいておりますチラシもご覧ください。

来年2023年は、土井ヶ浜遺跡の発掘遺跡調査開始からちょうど70年目にあたります。また、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの開館から30年目の節目の年でもあります。来年がこの2つの節目の年になりますので、記念行事を開催する予定にしております。その記念行事の1つが企画展です。企画展を3つ予定しております。1つ目が12月6日から来年3月12日までの企画展、2つ目が3月21日から7月2日まで、3つ目が7月11日から11月5日まで開催する企画展でございます。その他に、シンポジウムとフォーラムを計画しております。

土井ヶ浜遺跡からは保存良好な弥生時代人骨が約300体出土いたしておりますが、保

存良好な弥生人骨が300体も出土している遺跡は、この土井ヶ浜遺跡だけです。この意味で、土井ヶ浜遺跡は日本一の遺跡だと考えています。1953年から始まった土井ヶ浜遺跡の発掘調査で出土いたしました弥生人骨によって、初めて弥生人の顔かたちが明らかになりました。南西諸島周辺でしか採れない大型の巻貝で作った腕輪や装身具類、北部九州から入手した多数の鉄製品、日本海地域から入手した大量の管玉が出土いたしますので、これらことから土井ヶ浜遺跡は、北部九州と日本海との中間の位置にありまして、広域にわたって人と物が交流する場所、または両地域の中継地として機能していた場所であるということがわかりました。また、中国山東省での古人骨の調査によって、土井ヶ浜弥生人や吉野ヶ里弥生人の大元が中国などユーラシア大陸東部にあることや、西日本各地の土から出土する弥生人骨の研究によりまして、現代日本人の多様性はこの弥生時代から始まったことも明らかになりました。このような調査・研究の成果を、3回シリーズの企画展で紹介して参ります。第1回の12月6日から来年3月12日まで開催いたします企画展のタイトルは「土井ヶ浜遺跡の軌跡」というタイトルですが、内容は土井ヶ浜遺跡の発掘調査が始まるまでの物語、発掘調査やこの発掘調査で出土した人骨と遺物の研究によってわかったことを基にいたしまして、弥生時代の人々の暮らしを紹介していきたいと考えております。

以上、30周年記念企画展開催について、ご報告いたしました。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。今の報告について、ご意見ご質問があればどうぞ。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

30周年おめでとうございます。ちょっとお伺いしたいのが、敷地内にほねやすめがあったと思いますが、今はどういうふうにされていますか。

児玉典彦（教育長）

はい、松下館長。

松下孝幸（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長）

はい、ほねやすめは昔は休息所として、食堂と土産物店ということで営業してもらっていたんですが、今はそれはやっておりません。一応オープンはしておりますので、お客様がおいでになったらここで休憩していただく所にしております。

児玉典彦（教育長）

はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

昔はよく行きまして、そこで皆さんが話をして、おうどんを食べて、お茶を飲んでというひと時があったんですが、なくなってすごく寂しいなと思っています。今回は12月6日から3月12日までということで、開けているんですけどらかまわないんですが、会場の中を見

た後でちょっと休憩して、ゆっくりその雰囲気味わうというのが、私たちくらいの年代になりますと大事なことになるので、そこもしっかりやっていただきたいなと思っています。ありがとうございます。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。松下館長、いいですか。

松下孝幸（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長）

午前9時から午後4時までは開放しておりますので、コーヒーでありますとかそういうのは提供ができませんけど、ゆっくりあそこでご歓談、お休みになることは可能でございます。

藤井悦子（教育委員）

ありがとうございます。

児玉典彦（教育長）

ということですので、皆さんも是非ミュージアムに足を運ばれて下さい。その他はよろしいですか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

ご報告ありがとうございます。日本の人類のスタートが下関で見れる、下関は歴史の大きく変わったところがたくさん見える場所でもあります。高校生以下は無料で行けますけど、距離はあるんですけども、下関市内の子供たちは必ずここは遠足で行く場所にするとか決めていただいて、下関の子供たちに興味を持ってもらう、下関にまた帰ってきてもらう、こんなにいい街なんだということを理解してもらうってことを継続的にやられたらいいんじゃないかなと思いました。ありがとうございます。

児玉典彦（教育長）

貴重なご意見でした。ありがとうございます。ほかはよろしいですか。ないようですので、本件について報告済みといたします。

**【報告事項】**

第75回優良公民館表彰の決定について

児玉典彦（教育長）

続いて、「第75回優良公民館表彰の決定について」生涯学習課 藤井参事、お願いします。

藤井智（教育部参事（生涯学習課長））

生涯学習課です。第75回優良公民館表彰の決定について、ご報告いたします。資料の14ページをご覧ください。こちらにつきましては、12月20日に吉母公民館が第75回優良公民館表彰を受賞したとの文部科学省からの報道発表がありましたので、ご報告するものです。

優良公民館表彰とは、公民館やその他の公民館と同等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容、方法等に工夫を凝らした活動を行い、その活動成果を生かして人づくり・まちづくり・地域づくりに大きく貢献しているものを優良公民館として文部科学大臣が表彰し、今後の公民館活動の充実・振興に資するものです。吉母公民館は、本州最西端の地・毘沙の鼻、旅する蝶アサギマダラの飛来地、日本最古の恐竜足跡化石発見の地などの地域資源を活用したまちづくり、吉母小学校を利用した吉母ふれあいまつりの開催による学社融合の教育実践、地域での子供見守り、児童・高齢者の居場所づくり、地域ふれあい活動等を行っており、これらの活動が評価されたものです。本市の公民館が優良公民館表彰を受けるのは、平成24年度に彦島公民館が受賞して以来となります。なお、表彰式は年明けの令和5年2月3日に、東京都の文部科学省で行われます。

以上、簡単ではございますが、ご報告いたします。よろしくお願いいたします。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。大変喜ばしい報告が今ありましたが、ご質問ご意見はありますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

ご報告ありがとうございます。ここでおめでとうございますと皆さんに言うのもなんですが、地域の皆さんが本当に今まで培ってこられたもの。それから、これこそが地域を自慢していいものだというふうに思いますし、これは下関が自慢するものだと思いますので、先程と続きになりますけど、こういったことをどんどん地域に広めていく。それから市内全員の方、公民館の方にも、こういったことが実際に文科省からの表彰もあるということを伝えていただいて、わが地域にはこんなことがあるというのを、もっともっとアピールされたらいいんじゃないかなと思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。今、宣伝広報活動をしっかりするよということでしたので、藤井参事の方でもよろしくお願いいたします。そのほかよろしいですか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

去年だったと思いますけど、社会教育振興大会というところで、この吉母公民館の発表がございました。とても活発な活動をしておられて、しかも明るい話満載の活動が大会で発表されて、本当に素晴らしいなというふうに思った記憶がございます。以上、感想です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。よろしいですか。それでは、本件について報告済みといたします。

【その他】

児玉典彦（教育長）

それでは、日程3その他ですが、何かございますか。よろしいですか。

（はい。（全員））

児玉典彦（教育長）

なければ、次回の日程ですが、1月の教育委員会定例会は、1月25日（水）午前9時30分、下関市教育センター3階中研修室にて開催の予定です。委員のみなさん、よろしいでしょうか。

（はい。（全員））

【閉会の宣告】

児玉典彦（教育長）

これで本日の議事はすべて終了いたしました。これで定例会を終了いたします。お疲れ様でした。

（お疲れ様でした。（全員））

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員